

《SMILE》

スマイル

府議会議員北岡ちはる活動報告

2011.10.20 通巻No.-33

【北岡ちはる事務所】

京都市左京区北白川山田町10-1

Tel 075-702-9400

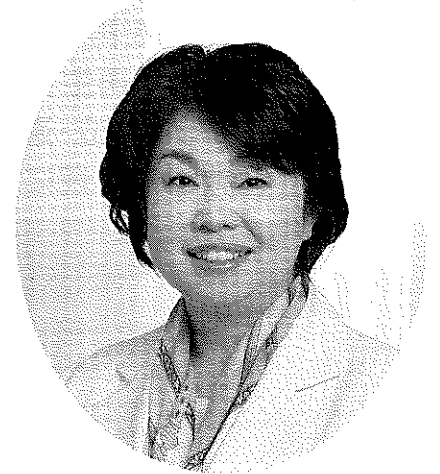
Fax 075-723-6600

ごあいさつ

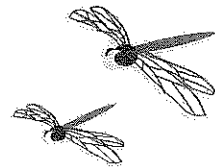
皆様の温かい御支援の御蔭様で、府議会議員六期目のスタートをきらせて頂いてから早や半年、この間、各議会活動や東日本大震災の被災地へ赴くなど、地元活動と共に全力をあげての取り組みをさせて頂いております。

東日本大震災の影響やその後相次いだ台風などの甚大な被害が重なり、また歴史的な円高の進行などによる空前の産業空洞化が懸念される中、京都府においては、さらなる経済・雇用対策等を迅速に講じていかなければなりません。加えて、防災対策や京都式地域包括ケアの取り組み、また、未来に希望の持てる地域づくり等、各般にわたる課題解決に向け、不断の努力をしてまいる決意でございますので、皆様の御指導のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

府議会議員
北岡 ちはる 押



～未来は子どもたちの中にある～



9月定例議会 報告

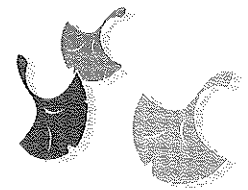
9月21日～10月7日

第1号議案平成23年度京都府一般会計補正予算(58億3971万7千円)ほか、21件の議案に民主党議員団として賛成し、可決。

主な議案内容

- 円高対策→中小企業へのさらなる支援(特別対策チームの派遣、新たな販路開拓等への助成、府の内工場や設備等に対する支援、外国人観光客誘客に取組む観光関連団体支援、等)
- 防災対策→生活密着型緊急防災対策事業費の計上(経済対策も兼ねた府民公募式公共事業)
原子力防災対策(モニタリングポストの追加配備) 被災者生活再建支援基金
- 医療・介護・福祉サービス→「京都式地域包括ケア」システムの地域展開の促進 等
- 雇用対策→大学生就職緊急支援事業(府内中小企業での短期研修～定着支援)
- スポーツ振興→府立体育館のリニューアル
- 環境と農業→「グリーンイノベーションパーク」整備費(新産業の創出)
- 京都府児童ポルノの規制等に関する条例制定(日本初の条例)

※この条例においては、人権に十分配慮した適切な条例の執行、府民への丁寧な説明を通じて誤解を生じさせないよう、条例の趣旨・内容について理解を頂く取組を進めると共に、啓発活動や被害者のケアについても引き続きの京都府の尽力が必要。

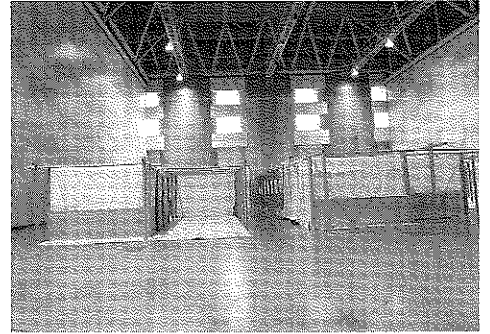


委員会をはじめとした主な活動報告

◎府民生活・厚生常任委員会管外調査（7月25日～26日）

ビッグパレットふくしま(福島県郡山市)および被災地 *大規模災害に係る避難所の運営等

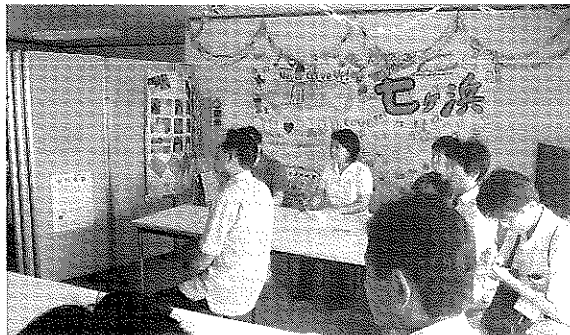
同避難所運営支援チームの天野和彦氏から、3月16日からの避難者状況、および避難所の運営と課題について説明を受けると共に、避難所内を視察させて頂き、京都府災害ボランティアセンターのメンバーからも、活動内容について、詳しくお話を伺いました。筆舌に尽くし難い、あまりにも悲惨な災害である事を再確認すると同時に、その中であって、「生命を守る」・「住民の交流と自治を守り、コミュニティを再生する」という同氏の強い思いを痛感しました。その象徴的なのが「おたがいさまセンター」の設立・運営でした。また、避難所におけるコーディネーターの存在は不可欠である事と、法や制度は、住民に添った緩やかな運用が必要である事等も学びました。



セガ浜町災害ボランティアセンター(宮城県宮城郡)および被災地

*ボランティアセンターの活動等

3月16日に現地入りされた、同センターの浦野愛さんから、センターの運営および地域事情と被害状況の説明をお聞きしました。市・社共・地元NPOとの連携を大切にし、地域の自主性を第一に活動を展開され、ネットワークを生かして、地元の方々だけでは困難な事を支援する取組も実施されました。特に、隣接する仮設住宅の方々は見え易いが、点在する在宅避難者の支援が今後の重要な課題である事と、生きがいの仕事づくりが必要との事でした。また、外部の力を借りようとする受援力が、行政の職員に必要なとの御示唆も頂きました。



◎防災危機管理・地球温暖化対策特別委員会では8/10/～8/11に、再度、福島県のビッグパレット、京都府職員派遣の福島市、南相馬市および相馬港湾の被害状況等を視察いたしました。

委員会以外にも、7/16～17には、仙台市・気仙沼市・陸前高田市・大船渡市の各被災地を視察してまいりました。それらの御報告や今後の被災者支援と被災地から学ぶ防災対策、また京都式包括ケアや改正NPO法等、喫緊の課題について、左京各地域で報告会を開催してまいります。